

2011年度第63回日本人口学会

2011年6月12日

## カンボジアの職業別人口構造

総務省統計研修所 西 文彦

注) 本資料に記載されている内容は、すべて個人の見解に基づくものである。

### 本報告の目的

カンボジアの人材の状況に視点を置いて、持続的な経済成長の可能性を検証する。

人口ボーナスの状況

職業別・最終学歴別就業者数の状況

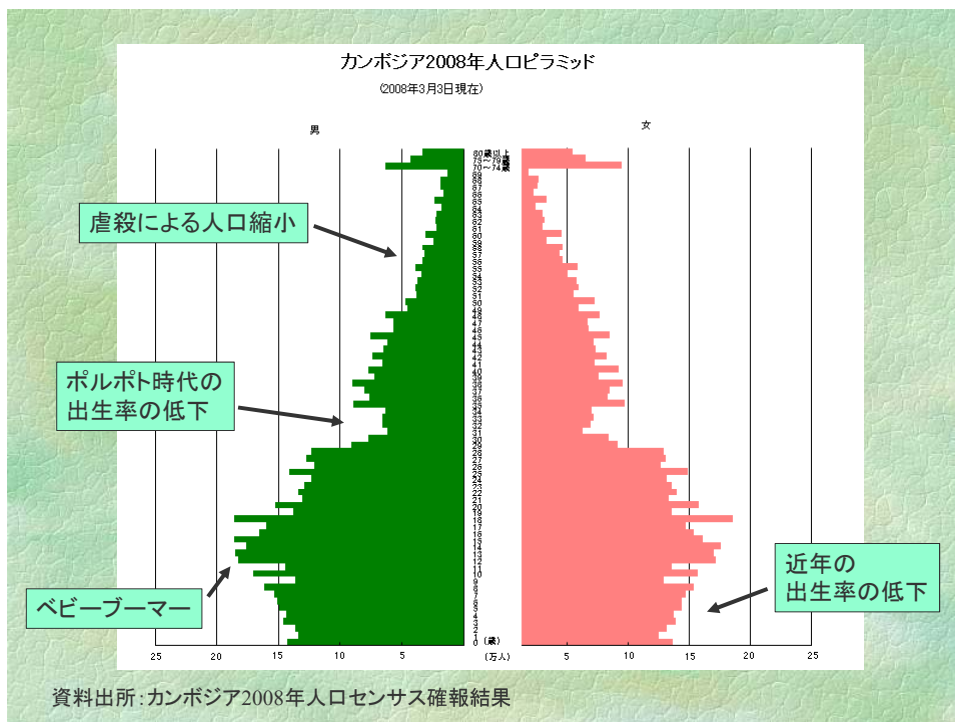
インフォーマル・セクターの状況

## カンボジアの概要

- 人口 1340万人
- 面積 181,035km<sup>2</sup> ~国土の6割以上が平野部
- 農林漁業従事者数の割合 71%
- 事業所数 38万事業所 (Street Businessを除く)  
~人口当たりの事業所数が  
他国と比較すると少ない

資料出所:カンボジア2008年人口センサス確報結果、  
2009年全国事業所リスティング確報結果

3



# 人口ピラミッドから何が言えるか

## 1. 少子化

- (1) 就業者への新規参入が減少
- (2) 学齢人口が減少
- (3) 1世帯当たりの世帯人員が減少
- (4) 第2次ベビーブームの到来は？

## 2. 人口ボーナス (Demographic Bonus)

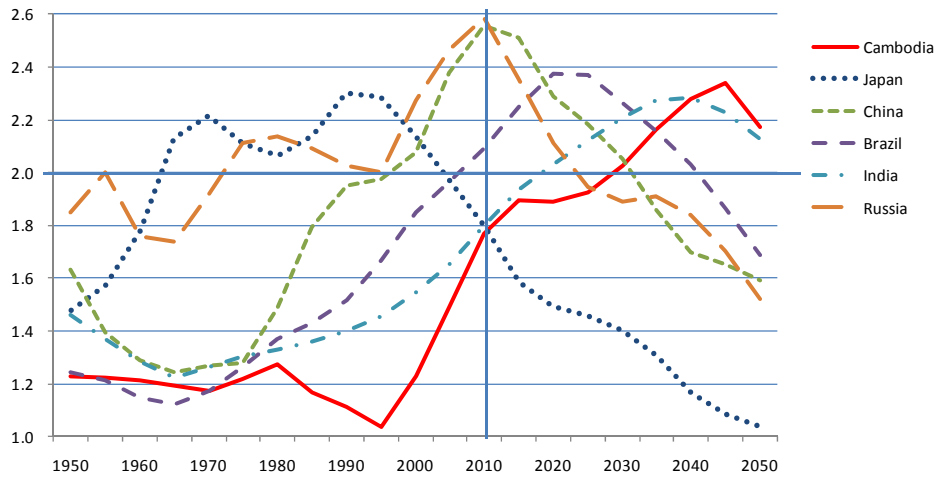
生産年齢人口が従属人口の2倍以上の時期

人口ボーナス指数 = 生産年齢人口 / 従属人口

経済成長に有利な状況

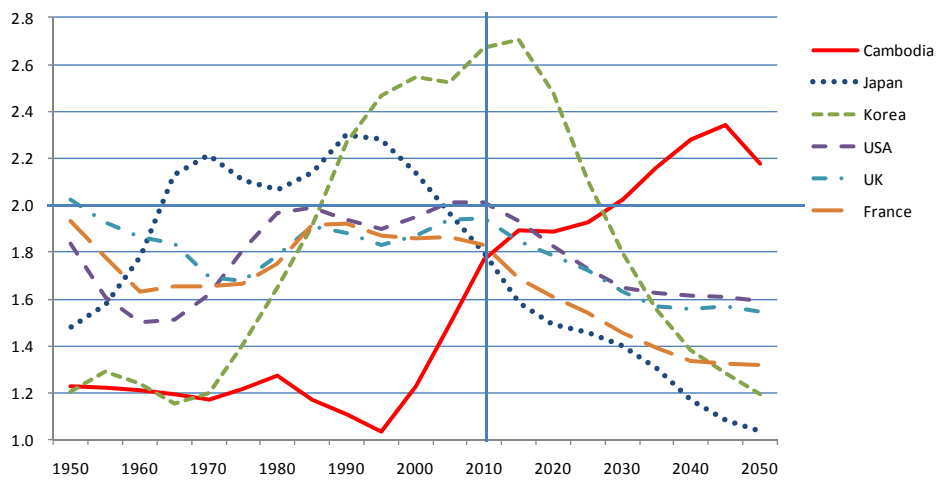
多産多死から少産少死に移行する過程で出現

## 人口ボーナス指数の国際比較 その1



資料出所: 国連 World Population Prospects (2008 revision)

## 人口ボーナス指数の国際比較 その2



資料出所: 国連 World Population Prospects (2008 revision)

## 2. 人口ボーナス（つづき）

カンボジアは人口ボーナスの時期に向かいつつある。

2010年は1.8 で、2030年に2.0を超える見込み。

2045年に2.3に達するまで、人口ボーナス指数は、一貫して上昇する見込み。

資料出所：国連 World Population Prospects (2008 revision)

## 今後起こりうること

- (1) 都市部への人口の流入（都市化、Urbanization）
- (2) 第一次産業から、第二次、第三次産業への就業者の移行（ペティの法則）
- (3) 約40年後から始まる人口オーナス（Onus）
- (4) 大学在学者数の急増  
約24,000人（2000-01年）→ 約75,000人（05-06年）  
Table 7.15, Statistical Yearbook of Cambodia 2008
- (5) プノンペン首都圏の拡大

## 職業別5歳以上人口構造(2008年)

Table 5.13 Percent distribution of Employed Persons\* by Occupational Composition and Sex, Cambodia 2008

Major group of Occupation		Percentage of Employed Persons		
Major group	Description	Both Sexes	Males	Females
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
Number of Employed Persons		6,880,698	3,341,697	3,539,001
Total		100	100	100
1	Managers	0.55	2.4%	0.22
2	Professionals	1.73		1.27
3	Technicians and Associate Professionals	2.25	13.8%	1.20
4	Clerical Support Workers	1.49	19.3%	1.00
5	Service and Sales Workers	8.99		10.83
6	Skilled Agricultural, Forestry and	71.28		73.79
7	Craft and Related Workers	7.24		8.19
8	Plant and Machine Operators and Assemblers	1.78		0.23
9	Elementary Occupations	4.69		3.27

Note: \*Excluding Armed forces and Occupation not reported. Includes ages 5 and over.

## 職業別5歳以上人口の特徴

持続的な経済成長を実現するためには

管理職、専門職、技術職及び事務職が  
僅か6% → 充実の必要性

7割以上が農林漁業従事者



第2次、第3次産業への移行の必要性

## 最終学歴別25歳以上人口構造(2008年)

Table 4.8 Educational Levels Completed by Literate Persons (in any language) Aged 25 years and over, Cambodia 1998 and 2008

Educational Level	Percentage Distribution by Educational Level of Literate Persons Aged 25 and over					
	1998			2008		
	BS	M	F	BS	M	F
(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
Number of Literate Persons 25+	2,794,022	1,548,235	1,245,787	4,271,812	2,226,884	2,044,928
<b>Total</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>	<b>100</b>
None	2.08	2.01	2.17	3.21	2.42	4.07
Primary Not Completed	56.63	49.00	66.10	47.23	39.98	55.11
Primary	24.71	28.70	19.75	26.77	29.40	23.91
Lower Secondary	11.78	13.86	9.20	18.75	22.67	14.49
Secondary / Tech. Diploma	4.03	5.33	2.42	2.20	2.91	1.43
Beyond Secondary	0.77	1.10	0.36	1.84	2.62	0.99

Note: Excluding educational levels "Other" and "Not reported"

13.5%

資料出所:カンボジア2008年人口センサス確報結果

## 最終学歴別25歳以上人口の特徴

大卒以上の者が2%未満、高卒以上でも4%



充実の必要性 → 現状の矛盾

8割以上が小卒以下



第2次、第3次産業への移行の妨げ?

## カンボジアの職業分類

カンボジア2008年人口センサスで用いられている職業分類は、国際標準職業分類（ISCO-08）をベースにしているものの、小分類（Minor Group）では、ISCO-08の125分類に、日本の技術協力<sup>1)</sup>の下、検討した結果、カンボジア独自の37分類を追加した162分類からなっている。

- 1) 総務省統計局、総務省統計研修所、（独）統計センター等は、（独）国際協力機構（JICA）を通じて、カンボジア計画省統計局（NIS）に対して、2005年8月から2015年3月までの予定で技術協力「カンボジア政府統計能力向上計画」を実施している。

## カンボジアの職業小分類(Minor Group)

カンボジア2008年人口センサスの職業小分類別結果及び職業小分類一覧表(カンボジア独自の小分類を含む)は、以下のページに掲載されている。

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/c8\\_profi.htm](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/c8_profi.htm)



## カンボジアのインフォーマル・セクター

### インフォーマル・セクターの範囲

国際標準職業分類（ISCO-08）には、インフォーマル・セクターの範囲が明確に記述されていない。

したがって、ここでは、ISCO-08の Major Groupのうち、9. Elementary Occupations をインフォーマル・セクターと想定して述べることにする。

17

表1 カンボジアのインフォーマル・セクターの就業者数 - 全国(2008年、1998年)

職業別就業者数		2008年	1998年	増加数
5歳以上就業者数	(万人)	694	485	209
インフォーマル・セクターの就業者数 1)	(万人)	32	26	6
インフォーマル・セクターの就業者数の割合	(%)	4.7	5.3	

資料出所:カンボジア人口センサス確報結果(2008年、1998年)

1) ここでは、ISCO-08の Major Groupのうち、9. Elementary Occupations をインフォーマル・セクターと想定している。

## インフォーマル・セクターの例

961 Refuse workers



## カンボジア独自のインフォーマル・セクターの例

951 Air pump operators, 954 Street petrol sellers



カンボジア独自の職業小分類の例1  
(インフォーマル・セクターに含めていないもの)

542 Street vegetable and fruit sellers



カンボジア独自の職業小分類の例2  
(インフォーマル・セクターに含めていないもの)

545 Street food and snack sellers



## まとめ

カンボジアでは、2030年～2050年まで人口ボーナスの時期が到来し、また、2010年～2030年の間も人口ボーナス指数が、1.8を超えており、経済成長を続けるには、有利な人口構造が長期間にわたって続く見込みである。

持続的な経済成長を遂げるには、就業者の巨大なプールとなっている第1次産業から、第2次、第3次産業へ順次移行することが必要になるが、第1次産業就業者の教育水準が低いため、その移行が緩慢となる可能性がある。

## まとめ (つづき)

インフォーマル・セクターの就業者数が、2008年に32万人で、全体の4.7%と高くなっているため、彼らをフォーマル・セクターに順次移行させる取り組みが必要である。

## 2008年人口センサスの結果

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/final\\_br.htm](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/final_br.htm)

職業小分類別、産業小分類別結果

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/c8\\_prof.htm](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/c8_prof.htm)

## 2009年全国事業所リスティングの結果

[http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/e9f\\_rep1.htm](http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/e9f_rep1.htm)

## 2011年経済センサスの概要

<http://www.stat.go.jp/info/meetings/cambodia/census11.htm>

## 2011年度第63回日本人口学会

本稿は、後日、以下の総務省統計研修所ウェブサイトに掲載される予定である。

<http://www.stat.go.jp/training/2kenkyu/cambodia.htm>

**THE END**

総務省統計研修所